

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おりーぶ			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日 ～ 2025年9月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	2025年9月1日 ～ 2025年9月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・関係機関と密に情報共有を行い、連携をとっていること	利用者や保護者の様子に気を配り、少しでも悩みやトラブル、違和感があった際は、都度連絡を取り、早期解決に努めている。また、関係機関とも必要に応じて情報共有し、一人一人の児童に寄り添った支援を行っている。	就学にあたり、小学校だけではなく中学校や高校、専門学校などの教育機関と密に連絡を取り、児童や保護者が将来に向けて安心して切り出せるよう支援をしていきたい。
2	児童が活発に活動できるよう、室内外に広い活動スペースを設置している。	ボール遊びなどで、近隣住民から苦情が出ないように、全面にネットを張っている。また、雨天時でも室内で十分に体を動かしたり、好奇心を高められるように広い活動空間及び秘密基地的な空間を設置している。	静かに過ごせる空間をもう少し広く確保したい。
3	外部との交流機会を設けている	職員の人脈を生かし、国際交流やスポーツの体験教室などを意識的に取り入れ、児童たちの興味関心を高められるよう取り組んでいる。	年代の近い世代との交流を図っていけるよう取り組みたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員配置は満たしているものの、余裕がない ・男性職員を増員する	同じ思いで児童や保護者と関わる人材確保を目指しているため、なかなか適任者が見つからないことが現状である。また、男性職員を増員する場合、それ相応の給与支給をしなければならぬため、経済的負担が大きくなってしまうため実現していない。	事業所を拡大し、経済力を強化する。
2	PTやSTなどの専門職を配置できていない	経済的負担が大きくなってしまうため実現していない。	事業所を拡大し、経済力を強化する。次に開設する施設は、専門職を配置し、専門的療育ができる施設にする。
3	地域との交流ができていない	まだ開設したばかりで、地域住民との交流を積極的に取り組んでいく体制が取れていない。	障害児通所施設に対する偏見差別がなくなるよう、地域活動に積極的に参加し、理解を求めていきたい。